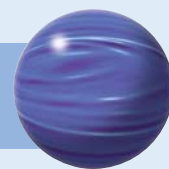


II 札幌水道のあゆみ



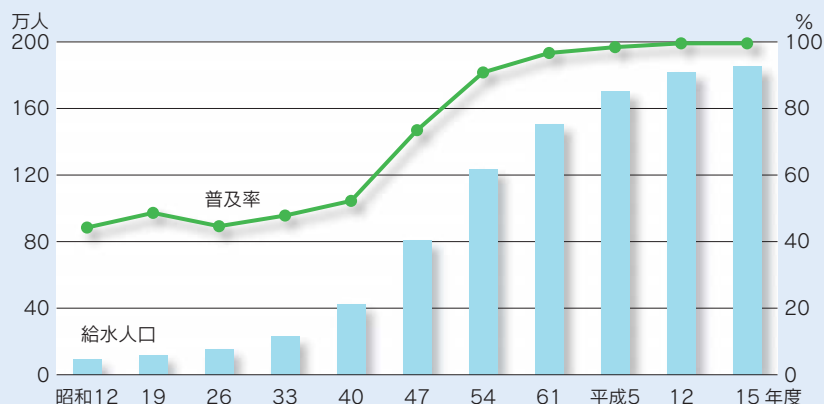
札幌水道の歴史は比較的浅く、政令指定都市の中でも最も後発の水道です。これは、札幌市が豊平川に由来する良質で豊富な地下水に恵まれ、当初は水道の必要性があまり認識されていなかったためです。

しかし、都市化や人口増加により地下水の水質汚染が進み、公衆衛生の向上や消防水利の確保などを目的として水道の必要性が認められるようになり、日本初の近代水道が横浜に誕生してから50年後の昭和12年（1937年）に、当時としては最新の技術を導入した藻岩浄水場をはじめとする水道施設が完成し、札幌水道が創設されました。

その後、高度経済成長の時代を迎え、35年（1960年）には、札幌市の人口が50万人に達するとともに、生活水準も向上し、水需要が急激な伸びを示し始めました。また、36年（1961年）5月には隣接する豊平町と合併したことに続き、42年（1967年）3月には手稲町とも合併し、札幌水道は大きく広がることとなりました。そこで、将来にわたって十分な水を確保するため、42年（1967年）から47年（1972年）にかけて豊平峡ダムを建設するとともに、新たな水源に対応する浄水場として、46年（1971年）に白川浄水場が完成しました。

さらに、市内のすみずみまで給水するために、宅地化の進む高台地区への給水を可能とするポンプ場や配水池などの高区配水施設の整備を開始するとともに、53年（1978年）には、さらなる給水需要の増大に対応するため定山溪ダムの建設に着手しました。そして、平成元年（1989年）の定山溪ダム完成に伴い、白川浄水場の増強を段階的に行いました。また、4年（1992年）からは、長期的な展望に立った水源を確保するため、当別ダムを水源とする石狩西部広域水道企業団に北海道や近隣市町とともに参画しています。

給水人口と普及率の推移



また、創設から半世紀が経過し、水需要の増加に対応してきた時代から、施設の維持管理や改良・更新が重要となる時代を迎える中、9年度（1997年度）から14年度（2002年度）にかけては、老朽化した藻岩浄水場の大規模改修を行いました。

現在は、全国でも有数の大規模水道事業体の一つに成長して、100%近い普及率を達成し、市民生活及び都市活動を支えるライフラインとして必要不可欠な存在となっています。



大通公園（中央のモニュメントは札幌の水道創設を記念して建てられた聖恩碑）

年表 札幌水道の主なできごと

年号	西暦	できごと	年号	西暦	できごと
明治43	1910	臨時水道調査委員会設置(9月)	52	1977	水道記念館開設(7月)
大正 8	1919	水利権の許可申請(6月) 事業認可申請 (上水道事業・電気事業併営)(7月)			豊平営業所開設(12月)
昭和 6	1931	水利権の許可取得(3月) 上水道事業・電気事業併営案可決(11月)	53	1978	給水普及率90%突破(3月) 東営業所開設(12月)
8	1933	電気事業案廃止(北海水力電気株式会社へ水利権譲渡)(8月)	54	1979	水質試験所完成(2月) 白川第2浄水場通水(10月)
9	1934	水道敷設の認可, 着工(2月) 水道部設置(3月), 起工式(6月)	55	1980	第6期拡張事業認可(3月), 起工(4月) 北部配水事務所開設(4月) 南営業所開設(4月)
12	1937	水道使用条例施行(4月) 藻岩第1浄水場通水(4月) 上水道工事しゅん功(6月), 落成式(7月)	58	1983	白川第2浄水場拡張(7月)
24	1949	放任給水制から全戸計量制への切り 替え着手	59	1984	藻岩浄水場水力発電所完成(3月) 第7期拡張事業認可(3月), 起工(4月) 清田配水池通水(7月)
29	1954	第1期拡張事業認可(6月), 起工(9月)	60	1985	料金業務にオンラインシステム導入(4月) 藻岩第1, 白川両浄水場が近代水道 百選に選ばれる(5月)
32	1957	水道法制定, 水道条例廃止(6月) 局制施行(7月)	61	1986	給水人口150万人突破(5月)
33	1958	藻岩第2浄水場通水(8月)	62	1987	緊急貯水槽設置(2月) 水道局本局庁舎落成・創設50周年記 念式典(10月)
35	1960	第2期拡張事業認可(3月), 起工(4月)	63	1988	第1次施設整備事業着手(4月) 白川第3浄水場通水(6月)
36	1961	豊平町と合併, 月寒・定山溪・平岸水 道の継承(5月)	平成元年	1989	定山溪ダムしゅん功(10月)
39	1964	隔月検針・徴収制の採用(4月)	2	1990	南部配水事務所開設(4月)
40	1965	給水装置に水抜き栓採用(4月)	3	1991	検針業務にハンディターミナル導入(4月) 厚別営業所開設(12月)
42	1967	水道事業管理者を置く(1月) 手稲町と合併・手稲・手稲東水道の継承(3月) 第3期拡張事業認可(3月), 起工(4月) 料金の納付制の採用(4月) 給水人口50万人突破(8月)	4	1992	石狩西部広域水道企業団設立許可(3月) 第2次施設整備事業着手(4月)
46	1971	4カ月検針, 料金の口座振替制の採用(4月) 西野浄水場通水(4月) 配水センター完成, 白川浄水場通水, 平岸配水池通水(7月)	6	1994	手稲営業所開設(1月) 西部配水池通水(10月)
47	1972	第4期拡張事業認可(3月), 起工(4月) 中央, 北, 白石の3営業所開設(4月) 豊平峡ダムしゅん功(10月)	8	1996	第3次施設整備事業着手(4月)
50	1975	給水人口100万人突破 西営業所開設(12月)	9	1997	白川第3浄水場増設(7月) 給配水技術研修所完成(10月)
51	1976	第5期拡張事業認可(3月), 起工(4月) 加入金制度新設(4月) 東部, 西部配水事務所開設(5月)	11	1999	電話受付センター開設(12月)
			12	2000	第4次施設整備事業着手(4月)
			14	2002	隔月検針の採用(4月)
			15	2003	藻岩浄水場大規模改修完了(3月)